

気になる通知表の記述（後編）

4 二重敬語に気をつけよう

今では定着しているものもありますが、基本的に「二重敬語」は失礼とされています。保護者のことを思うあまり、二重敬語になっている通知表や学年・学級通信を目にすることがあります。日常会話でも耳にします。いくつか例を挙げます。確認してみてください。

(1)「お（ご）～になる」＋「れる」「られる」 ※尊敬語に「れる、られる」の尊敬語を重ねている

「×おっしゃられる（おっしゃる＋られる）」→「○おっしゃる、言われる」

「×ご覧になられる（ご覧になる＋られる）」→「○ご覧になる、見られる」

他にも「お読みになられる」「お話になられる」「お帰りになられる」「ご使用になられる」など

(2)謙譲語＋させていただく ※謙譲語に、「する」の謙譲語「させていただく」プラスしている

「×拝見させていただく」→「○拝見する」

「×申し上げさせていただく」→「○申し上げる」

～以下は通知表ではまず見かけませんが、参考までに!!～

(3)役職＋様

「×社長様」→「○社長」、「×教育長様」→「○教育長」

役職名はそれ自体が敬称です。そこにさらに敬称の「様」をつける必要はありません。

(4)各位＋様

各位には「皆様、皆様方」という敬う意味があります。そこに「様」をつけるのは二重敬語です。

三重敬語なんていう言葉もあるみたいです。例：お召し上がりになられる、お見えになられる

5 短文で書く

1文が長すぎるとこちらの意図が伝わりにくくなります。授業等で子供にも指導しますよね。同じです。短文で分かりやすく書きましょう。所見が一通りできたら、1～5についてチェックしてみてください。



熊本の学び「アクションプロジェクト」

昨年度の主幹だよりでも紹介しましたが、「熊本の学び」の推進を支え、児童生徒の学力向上を目指して、R3年度からR5年度までおこなわれています。

「誰一人取り残さない学びの保障」「教員一人一人の授業力向上」の2本柱です。特に前者は先生方が授業を中心に組み込むことです。先日の県教育広報誌「ぼとん・ばす」にも載っていました。QRコードも載せておくので、時間をつくってチェックしてください。



～ティータイム～

「高級ホテル」

この夏は、京都にいたいところに行くつもりでルンルンだった我が家の子供たち。諸々あって行けなくなった。（当然、前号同様「やだー」の言葉もあった）代替として天草に海水浴に行くことになった。

「あそこの高級ホテルは・・・だった」道中、これまで旅行で泊まったホテルを思い出しながら、胸を躍らせている。親としては予算という現実があるので「高級」かどうかはノーコメントだが、子供はどこに行っても「高級」ホテルになるようだ。

ホテル前で泳ぐことができたので、コロナの心配もなく楽しめた。しかし、暑がりの自分に合わせて就寝中も冷房をいれた結果、一番下の子がかぜをひいた。次の日は早めの帰宅となったのだった。残念だったろうな。またいつか「高級」ホテルに泊まろう。

